



2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年2月14日

上場会社名 関東電化工業株式会社
 コード番号 4047 URL <https://www.kantodenka.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長谷川 淳一
 問合せ先責任者 (役職名) 法務・総務部長 (氏名) 二見 浩司
 四半期報告書提出予定日 2020年2月14日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 03-4236-8801

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|---------------|--------|-----|-------|-----|-------|-----|------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2020年3月期第3四半期 | 40,541 | 0.4 | 6,315 | 6.7 | 6,451 | 7.9 | 4,141 | 14.6 |
| 2019年3月期第3四半期 | 40,374 | 8.3 | 6,770 | 2.9 | 7,005 | 4.1 | 4,852 | 3.3 |

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 4,172百万円 (26.9%) 2019年3月期第3四半期 3,288百万円 (44.9%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|---------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2020年3月期第3四半期 | 72.00 | |
| 2019年3月期第3四半期 | 84.36 | |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|---------------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2020年3月期第3四半期 | 83,253 | 47,444 | 55.4 | 801.64 |
| 2019年3月期 | 81,601 | 44,100 | 52.7 | 746.88 |

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 46,113百万円 2019年3月期 42,963百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2019年3月期 | | 6.00 | | 7.00 | 13.00 |
| 2020年3月期 | | 7.00 | | | |
| 2020年3月期(予想) | | | | 7.00 | 14.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|--------|-----|-------|------|-------|------|-----------------|------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 54,500 | 1.3 | 7,100 | 24.9 | 7,300 | 23.9 | 4,700 | 28.3 | 81.71 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|-------------------|------------|--------------|------------|--------------|
| 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 2020年3月期3Q | 57,546,050 株 | 2019年3月期 | 57,546,050 株 |
| 期末自己株式数 | 2020年3月期3Q | 22,573 株 | 2019年3月期 | 22,531 株 |
| 期中平均株式数(四半期累計) | 2020年3月期3Q | 57,523,507 株 | 2019年3月期3Q | 57,523,519 株 |

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、[添付資料]3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|-----------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報..... | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明..... | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明..... | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明..... | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記..... | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表..... | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書..... | 6 |
| (四半期連結損益計算書)..... | 6 |
| (四半期連結包括利益計算書)..... | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項..... | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記)..... | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)..... | 8 |
| (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)..... | 8 |
| (セグメント情報)..... | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出が引き続き弱含むなかで、製造業を中心に弱さが一段と増しているものの、各種政策の効果もあり、緩やかな回復基調が続きました。一方、海外においては、通商問題の動向が世界経済に与える影響や、中国経済の先行き、中東地域を巡る情勢等に留意する必要性があり、先行き不透明な状況が続きました。

このようななか、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は、主に設備事業部門が増収となったため、405億41百万円と前年同期に比べ1億67百万円、0.4%の増加となりました。損益につきましては、原材料価格は低下したものの、一部のフッ素系製品の販売価格が低下したことや、製造固定費の増加等により、経常利益は64億51百万円と前年同期に比べ5億54百万円、7.9%の減少となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は41億41百万円と前年同期に比べ7億10百万円、14.6%の減少となりました。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

① 基礎化学品事業部門

か性ソーダは、価格修正効果はあるものの販売数量の減少により、前年同期に比べ減収となりました。塩酸は、販売価格の低下により、前年同期に比べ減収となりました。

塩素系有機製品につきましては、トリクロールエチレンは、販売数量の増加により、前年同期に比べ増収となりました。パークロールエチレンは、販売数量の減少により、前年同期に比べ減収となりました。

以上の結果、基礎化学品事業部門の売上高は、49億40百万円となり、前年同期に比べ50百万円、1.0%の減少となりました。営業損益につきましては、営業利益1億05百万円となり、前年同期に比べ74百万円、41.6%の減少となりました。

② 精密化学品事業部門

半導体・液晶用特殊ガス類につきましては、三フッ化窒素は、販売数量の減少により、前年同期に比べ減収となりました。六フッ化タングステンは、販売数量の減少と販売価格の低下により、前年同期に比べ減収となりました。ヘキサフルオロ-1,3-ブタジエンは、販売数量の増加により、前年同期に比べ増収となりました。

電池材料の六フッ化リン酸リチウムは、販売数量の増加により、前年同期に比べ増収となりました。

以上の結果、精密化学品事業部門の売上高は、301億11百万円となり、前年同期に比べ26百万円、0.1%の減少となりました。営業損益につきましては、原材料価格は低下したものの、製造固定費の増加等により、営業利益52億69百万円となり、前年同期に比べ7億25百万円、12.1%の減少となりました。

③ 鉄系事業部門

複写機・プリンターの現像剤用であるキャリアーは、販売数量の減少により、前年同期に比べ減収となりました。鉄酸化物は、着色剤の販売減少により、前年同期に比べ減収となりました。

以上の結果、鉄系事業部門の売上高は、18億49百万円となり、前年同期に比べ43百万円、2.3%の減少となりました。営業損益につきましては、営業利益2億92百万円となり、前年同期に比べ75百万円、20.5%の減少となりました。

④ 商事事業部門

商事事業につきましては、化学工業薬品の販売増加により、前年同期に比べ増収となりました。

以上の結果、商事事業部門の売上高は、18億01百万円となり、前年同期に比べ34百万円、1.9%の増加となりました。営業損益につきましては、営業利益94百万円となり、前年同期に比べ15百万円、20.2%の増加となりました。

⑤ 設備事業部門

化学設備プラントおよび一般産業用プラント建設の売上高は、請負工事の増加により、前年同期に比べ増収となりました。

以上の結果、設備事業部門の売上高は、18億39百万円となり、前年同期に比べ2億53百万円、16.0%の増加となりました。営業損益につきましては、営業利益5億52百万円となり、前年同期に比べ2億66百万円、93.6%の増加となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産は、現金及び預金が減少した一方、有形固定資産やたな卸資産、受取手形及び売掛金、投資有価証券が増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ16億51百万円増加し、832億53百万円となりました。

負債は、支払手形及び買掛金が増加した一方、未払法人税等や借入金が減少したことなどから16億92百万円減少し、358億08百万円となりました。

純資産は、利益剰余金が増加したことなどから33億43百万円増加し、474億44百万円となりました。自己資本比率は、前連結会計年度末の52.7%から55.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の業績予想につきましては、製造固定費の減少や原材料価格の低下等の可能性がある一方、新型肺炎の感染拡大が販売や原材料調達に与える影響については、現時点での予想が困難であるため、前回発表予想を据え置いております。

なお、上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2019年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 18,409 | 14,534 |
| 受取手形及び売掛金 | 15,219 | 15,694 |
| 電子記録債権 | 792 | 847 |
| 商品及び製品 | 3,494 | 4,152 |
| 仕掛品 | 4,602 | 4,311 |
| 原材料及び貯蔵品 | 2,982 | 3,175 |
| その他 | 1,489 | 1,592 |
| 貸倒引当金 | △25 | △26 |
| 流動資産合計 | 46,964 | 44,282 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 6,348 | 7,790 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 9,272 | 8,682 |
| その他（純額） | 10,086 | 12,844 |
| 有形固定資産合計 | 25,707 | 29,317 |
| 無形固定資産 | 419 | 555 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 6,568 | 7,033 |
| 繰延税金資産 | 1,411 | 1,301 |
| その他 | 534 | 767 |
| 貸倒引当金 | △4 | △4 |
| 投資その他の資産合計 | 8,509 | 9,097 |
| 固定資産合計 | 34,636 | 38,970 |
| 資産合計 | 81,601 | 83,253 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2019年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 7,208 | 7,625 |
| 電子記録債務 | 723 | 741 |
| 短期借入金 | 4,210 | 4,255 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 1,343 | 2,997 |
| 未払法人税等 | 1,750 | 530 |
| 役員賞与引当金 | 106 | 47 |
| その他 | 4,911 | 4,941 |
| 流動負債合計 | 20,254 | 21,139 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 15,102 | 12,425 |
| 役員退職慰労引当金 | 134 | 134 |
| 環境対策引当金 | 17 | 36 |
| 退職給付に係る負債 | 1,805 | 1,818 |
| その他 | 187 | 255 |
| 固定負債合計 | 17,246 | 14,669 |
| 負債合計 | 37,501 | 35,808 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 2,877 | 2,877 |
| 資本剰余金 | 1,829 | 1,829 |
| 利益剰余金 | 36,567 | 39,904 |
| 自己株式 | △12 | △12 |
| 株主資本合計 | 41,262 | 44,599 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1,714 | 2,019 |
| 為替換算調整勘定 | △15 | △521 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 2 | 15 |
| その他の包括利益累計額合計 | 1,700 | 1,514 |
| 非支配株主持分 | 1,136 | 1,330 |
| 純資産合計 | 44,100 | 47,444 |
| 負債純資産合計 | 81,601 | 83,253 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日) |
|------------------|--|--|
| 売上高 | 40,374 | 40,541 |
| 売上原価 | 28,129 | 28,305 |
| 売上総利益 | 12,244 | 12,236 |
| 販売費及び一般管理費 | 5,473 | 5,921 |
| 営業利益 | 6,770 | 6,315 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 4 | 12 |
| 受取配当金 | 171 | 203 |
| 為替差益 | 95 | — |
| 試作品売却益 | — | 175 |
| その他 | 160 | 85 |
| 営業外収益合計 | 432 | 476 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 98 | 139 |
| 為替差損 | — | 84 |
| デリバティブ評価損 | 12 | 55 |
| 試作品売却損 | 41 | — |
| その他 | 45 | 60 |
| 営業外費用合計 | 197 | 340 |
| 経常利益 | 7,005 | 6,451 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | 60 | — |
| 特別利益合計 | 60 | — |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 152 | 134 |
| 減損損失 | — | 45 |
| 特別損失合計 | 152 | 179 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 6,913 | 6,271 |
| 法人税等 | 1,975 | 1,889 |
| 四半期純利益 | 4,938 | 4,382 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 85 | 241 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 4,852 | 4,141 |

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日) |
|-----------------|--|--|
| 四半期純利益 | 4,938 | 4,382 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △1,446 | 315 |
| 為替換算調整勘定 | △217 | △538 |
| 退職給付に係る調整額 | 14 | 13 |
| その他の包括利益合計 | △1,649 | △209 |
| 四半期包括利益 | 3,288 | 4,172 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 3,292 | 3,955 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | △3 | 217 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。但し、見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によって計算しております。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | | | | 調整額 (注)1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2 |
|---------------------------|-------------|-------------|-------|-------|-------|--------|-------------|-------------------------------|
| | 基礎化学品 事業 | 精密化学品 事業 | 鉄系事業 | 商事事業 | 設備事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| (1) 外部顧客への売上高 | 4,990 | 30,137 | 1,892 | 1,767 | 1,585 | 40,374 | — | 40,374 |
| (2) セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 993 | 100 | 57 | 3,081 | 2,001 | 6,233 | △6,233 | — |
| 計 | 5,984 | 30,238 | 1,949 | 4,848 | 3,586 | 46,608 | △6,233 | 40,374 |
| セグメント利益 | 180 | 5,995 | 368 | 79 | 285 | 6,907 | △137 | 6,770 |

(注) 1. セグメント利益の調整額△137百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | | | | 調整額 (注)1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2 |
|---------------------------|-------------|-------------|-------|-------|-------|--------|-------------|-------------------------------|
| | 基礎化学品 事業 | 精密化学品 事業 | 鉄系事業 | 商事事業 | 設備事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| (1) 外部顧客への売上高 | 4,940 | 30,111 | 1,849 | 1,801 | 1,839 | 40,541 | — | 40,541 |
| (2) セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 971 | 102 | 26 | 3,345 | 2,800 | 7,247 | △7,247 | — |
| 計 | 5,911 | 30,213 | 1,875 | 5,147 | 4,640 | 47,789 | △7,247 | 40,541 |
| セグメント利益 | 105 | 5,269 | 292 | 94 | 552 | 6,314 | 1 | 6,315 |

(注) 1. セグメント利益の調整額1百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

報告セグメントに配分されていない全社資産のうち、本社移転の意思決定に伴い、本社事務所資産について減損損失を認識しております。当該減損損失の金額は当第3四半期連結累計期間において45百万円であります。